

# 大阪府退教情報

23年11月8日発行 第41号  
発行者:大阪府退職教職員連絡協議会 代表:林誠子  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪教組気付  
電話 06-6762-7999

## 私たちは見た！宮古島の軍事要塞化を 憲法第九条を誇りにする会フィールドワーク



10月16～18日、府退教・府退女教から55名が参加して、憲法第九条を誇りにする会の第15回フィールドワークを沖縄県宮古島で実施した。

「台湾有事」「離島防衛」などを口実として南西諸島での**軍事力増強が加速**している。与那国島、奄美大島、宮古島に続いて、石垣島にも陸自駐屯地が開設され、全駐屯地にミサイル部隊が配備された。今後も米軍との共同備蓄施設建設や下地島空港の軍事空港化が画策されているが、住民による反対運動も粘り強く取り組まれている。今回のフィールドワークは実際に現地に出向いて学習と交流を行うことを目的に企画した。

ハンセン病国立療養所「南静園」では、旧入園者から隔離政策のもとでの偏見・差別とそれへのたたかひの歴史について、宮古島市を一望するカマ嶺公園の憲法9条の碑の前では、みやこ九条の会の方から米国統治時代以来の反戦・平和のとりくみ、公費での建設が議会で否決され、**市民のカンパ**によって**非戦の碑が建立**されたいきさつについて聞き取りを行うことができた。また、旧日本軍の「慰安所」があったことを12の言語で

刻んだアリアンの碑（当時、島内には11か所の「慰安所」があったことが確認されている）、飢えとマラリアで兵士約3000名が死亡した惨状を詠んだ高澤義人歌碑について学習を深めた。

陸自宮古島駐屯地前では、**宮古島の軍事要塞化**に反対して抗議活動を行っている「ミサイル基地いらない**宮古島住民連絡会**」の方からミサイル配備の状況について説明を、保良（ぼら）弾薬庫前では朝早くから夕方まで監視活動を続けている「**ミサイル・弾薬庫反対！住民の会**」の方から集落からわずか数百mのところ弾薬庫や訓練場が建設され、ミサイルが運び込まれているという説明を受けた。

4年ぶりの宿泊フィールドワークが実りの多いものとなったのは、**現地運動体**との調整だけでなく、移動中も常に帯同してくれた**沖退教みやこ支部の全面的な協力のおかげ**である。記して感謝の意を表したい。

日退教も沖縄からの提起を受けて、とりくみを強化することを決めた。米軍基地の整理・縮小が進まない中で、**自衛隊基地の増強によって南西諸島が「軍事要塞化」**することを許してはならない。

（文責：「誇りにする会」共同代表 林 茂樹）